

INGOT

インゴット

注意事項・お取り扱いについて



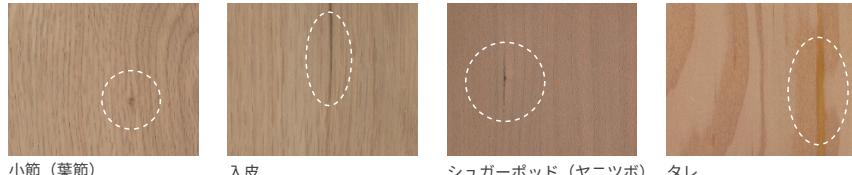
大和ツキ板産業株式会社

ご採用にあたり

注意

本製品は天然木を使用しています。天然木の特性をご理解いただきご採用いただきますようお願いいたします。

- 天然木を使用した製品
- 本製品は天然木を使用しています。一つ一つの製品の色柄は微妙に異なり、またそれが美しい表情を作り天然木ならではの魅力となっています。
 - カタログに掲載されている写真とご納品する製品の色柄は異なりますのであらかじめご了承ください。
特に追加注文をされる場合は色柄の違いが生じます。
 - 天然木を使用しておりますので、自然光や照明から発生する紫外線により少しずつ色が変わります。家具やポスターなどで部分的に光が遮断されると、他の部分に比べ変色が起こりにくいため、色の違いが目立つ場合があります。
 - 一つ一つの製品は色柄が微妙に異なるため、施工前に仮並べを行い、全体のバランスを確認してください。また、製品の裏面に連番号の記載がある場合は、連番号と天地に特に注意してください。
 - 天然木の個性豊かな表情
天然木の魅力は豊かな表情の中にあります。木々が育ってきた過程が木目に現れ、その表情の違いが私たちに温もりや安らぎを与えてくれます。成長過程で生じる節や斑・入り皮なども天然木ならではの特徴です。天然素材を有効に使うためある程度のバラツキが生じることを、あらかじめご理解ください。



小節 (葉節) 入皮 シュガーポッド (ヤニツボ) タレ

製品概要

事前にご確認ください

基本仕様表	仕様	基材	厚み	サイズ	不燃番号
基材	一般仕様	MDF (耐水)	4 mm	w900×h2400	-
	不燃仕様	不燃性ガラス質複層板	6 mm	w900×h2400	NM-5353
ツキ板	各種取扱樹種、杢目(板・柾・杢)、各種貼り方(リピート・ブック・ランダム・斜め貼)他				
塗装仕様	UV塗装(クリア塗装、特注着色塗装、3分艶、5分艶、7分艶、全艶、全艶消し、200%艶消し、他)				
希望対応	希望寸法カット、面取り加工、小口処理(同材ツキ板貼り、小口テープ貼り、共色塗装)、浮造り加工、底面地テープ、他				

特注デザインの製作について

事前にご確認ください

● データ形式

- Aiデータ(adobe illustrator、原寸100%、**白黒2色**)
- CADデータ(DXF、jww、原寸100%)
- Jpeg(原寸100%、**白黒2色**、150dpi以上)
- その他(事前にご相談ください)

※弊社にてデザインの作成・編集・修正を行う必要がある場合、時間を要する場合があります。

※デザインデータは製作上の都合で一部修正させていただく場合もありますのでご了承ください。

● 製作可能最大寸法(一枚当たり)

- w1200×h3000×t20 もしくは、w3000×h1200×t20

※より大きなデザインを行う場合は複数のパネルを並べて使用することになります。

※基材の特性により±0.2%程度の収縮が生じます。

● 製作納期

- デザインの内容によって制作期間が変わります。納期につきましては事前にご相談ください。

※参考納期 デザインの検討・作成(1~3ヶ月)・製品の製作(1~2ヶ月)

● その他

- 焦がし加工をご希望の際は樹種によって色味が異なり、目立ちにくい場合がございますので、一度お問合せください。
- 色が薄い樹種または、水分を含みやすい樹種は金属箔部分周辺のツキ板に色が付きやすいのでご注意ください。

メンテナンス方法

注意

長くお使いいただくために必ずお守りください

方法

- 汚れが著しい場合は中性洗剤を3~5%程度にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸しよく絞って拭き取ってください。その後、水に浸し固く絞った布で洗剤をふき取り、柔らかい布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。

- 水滴などが残ると水垢やシミが発生したり、表面材の剥離等のトラブルの原因となりますので必ず拭き取ってください。

注意事項

- ヒーターなどで強制的に乾燥させるとパネル温度が過剰に上がり、収縮を起こす可能性がありますので絶対にお止めください。
- 強い洗剤やシンナーなどの有機溶剤は、変形や表面破損の原因となりますので使用しないでください。

施工ガイド

注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

● 本製品は屋内専用です。

屋外や浴室等での使用は、湿気、水濡れ、強い直射日光などにより、腐れや剥離、割れ等の劣化が進む原因となります。

● 内装壁面材です。床、屋外では使用できません。

禁止事項

天井での使用は、然るべき安全対策を行った取り付け方法で施工してください。

● RC、ALC、モルタル面への直貼りはできません。

● 下地材の選定及び構造が、建築基準法や火災防止条例等の法令・条例に適合したものであるかご確認ください。

● 閉封・取付け後は、必要に応じて換気を行ってください。

● 加工する際は、保護メガネ・防塵マスクを着けて作業をしてください。

● 接着剤や両面テープの接着材面を皮膚に接触させないようにしてください。

必ず行う

● 製品の運搬取り扱いの際には、保護手袋を着用してください。

● 粉塵が皮膚に付着したり目・鼻・口に入った場合は直ちに洗い流し、異常を感じた場合には医師の診断を受けてください。

● 表面に保護フィルムを貼った場合、高温となる場所での保管はお控えください。

● 製品の移動を行う際は、地面と垂直に持ち二人で運搬してください。

● 立て掛け、地面への直置きはせず、パレットに平積みしてください。

製品の保管・管理等

● 雨水、水掛かりする場所や直射日光の当たる場所、低温(0°C以下)、高温(50°C以上)、高湿(90%以上)となる場所での保管はしないでください。

● 基材の特性により0.2%程の収縮がおきます。

下地の確認

施工可能な下地の例

- せっこうボード（推奨12.5mm以上）
- ケイ酸カルシウム板（推奨6mm以上、プライマー処理必要）
- ラワン合板（推奨9mm以上、プライマー処理必要）

※ 下地にケイ酸カルシウム板・ラワン合板を用いる場合、事前にプライマーの処理が必要です。

※ 上記の下地の場合でも、下地表面に塗装などが施されている場合は接着不良により剥がれる可能性がありますのでご注意ください。

※ 下地材の選定及び構造が、建築基準法や火災防止条例等の法令・条例に適合したものであるかをご確認下さい。

施工が出来ない下地の例

● RC壁、ALC、モルタル面、結露・湿気を帯びた下地

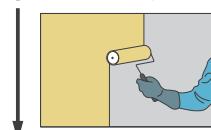
施工が出来ない環境

- 屋外、浴室など湿気、水濡れ、結露が予想される場所
- 低温(0°C以下)、高温(50°C以上)、高湿(90%以上)の場所

施工の手順

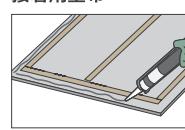
推奨工法：コニシ株式会社 ボンド TM 工法

① ブライマーの処理



- 下地がケイ酸カルシウム板・合板の場合は予め前面にプライマー処理を塗布してください。
(推奨：コニシ㈱／ボンドシールプライマー #7)

⑥ 接着剤塗布

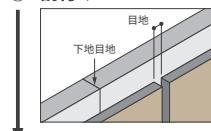


- 接着剤は高さ4mmで塗布してください。
- 仕上げ材の外周には必ず接着剤を塗布してください。
（外周塗布が無い場合、や、塗布量が少ない場合には繊細の浮きが生じる可能性があります。）

● 周辺部材（推奨）

- ブライマー：コニシ株式会社・ボンドシールプライマー #7
- 仮留めテープ：コニシ株式会社・ボンド TM テープ R1
ボンド TM テープ W1
- 接着剤：コニシ株式会社・ボンド SU25
ボンド MPX-1

② 割付け



- 下地の目地と仕上げ材の目地が重ならないように割付けてください。

⑦ 貼付け



- 接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着をしてください。
(推奨：コニシ㈱／ボンド SU25、ボンド MPX-1)

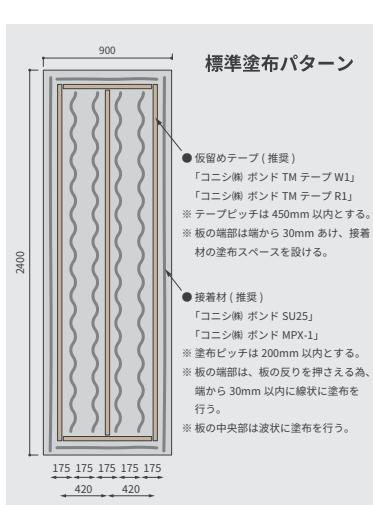
③ 目地テープ貼り



- 目地に合わせて目地テープを貼ってください。

- 釘の板と柄が合うよう調整を行い、中央部に浮きが発生しないように注意して仕上げ材を貼付けてください。

標準塗布パターン



④ カット加工



- 切断を行う際は、必ず化粧面にマスキングテープを貼り、刃物を表面から入れ裏面から出るようにしてください。
- マスキングテープを貼らない場合、本体が欠ける場合があります。

- 仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。
※ 先に接着剤を押さえると、仮留めテープが着かず接着不良となる恐れがあります。

● 接着材（推奨）

- 「コニシ㈱ ボンド SU25」
「コニシ㈱ ボンド MPX-1」

※ テーピングは450mm以内とする。
※ 板の端部は端から30mmあけ、接着材の塗布スペースを設ける。

※ 塗布ピッチは200mm以内とする。

※ 板の端部は、板の反りを押える為、端から30mm以内に線状に塗布を行う。

※ 板の中央部は波状に塗布を行う。

⑤ 仮留めテープ貼り



- 仕上げ材の端部に接着剤を塗布する為のスペースを30mmあけて、仮留めテープを貼ってください。
(推奨：コニシ㈱／ボンド TM テープ W1、ボンド TM テープ R1)

NG 施工例

● ゴムハンマー等で直接たたく施工方法

- 製品を取り付ける際に、ゴムハンマー等で叩いて行う施工方法は製品にヘコミが生じますので絶対にお止めください。



● 運搬用吸盤等（サクションリフター）による施工方法

- 吸盤を用いて運搬を行うと製品内部での層間剥離が生じる恐れがありますのでお止めください。

